

「さんりんぼう」って？

◎「さんりんぼう」とは

「さんりんぼう」は「三隣亡」とも書かれていて、この日に家づくりや建築儀礼(上棟祭)を行うと、隣近所に災いを及ぼすとか、工事に携わる大工が怪我をするといっって、建築上の凶日とされています。

◎さんりんぼうの歴史

「さんりんぼう」は江戸時代初期の「かな暦」などの民間暦には掲載されていませんでしたが、江戸中期頃から「大安・仏滅」などの六曜(※1)などと同様に記載されて流行し、特に明治になって大流行しました。ただ、当初は「三隣宝」と書かれていて「屋立てよし」「蔵立てよし」と注記されていました。すなわち、現在とは正反対の吉日だったことになります。

これがいつの頃からか「屋立てあし」「蔵立てあし」と書かれるようになったとされています。これは、ある年に暦の編者が「よ」を「あ」と書き間違え、それがそのまま伝わってしまったのではないかと考えられています。そして後に、「三輪“宝”」が凶日では都合が悪いということで、同音の「三隣“亡”」に書き改められたとされています。

◎さんりんぼうの配列

「さんりんぼう」の配列は、「大安・仏滅」などと同様に一定の基準によって配列されています。

- 1月・4月・7月・10月・・・亥の日
- 2月・5月・8月・11月・・・寅の日
- 3月・6月・9月・12月・・・午の日

この各月は旧暦で、しかも二十四節気(※2)の節から節までの節月で、月の切り替えが節入りの日になります(実際の配列などは、山形県神社庁家庭本暦などの暦本に詳しく記載されています。)

この配列がちょっとわかりにくいので、**暦の見方がわからない人が新暦のカレンダーで同じ月の中で「さんりんぼう」と記載されていないから「かくれさんりんぼう」だとか、さんりんぼうの干支の年だから「一年間さんりんぼう」と言っているに過ぎません。**“かくれ”や“一年間”というのはその根拠が全く無く、迷信でも俗信でも何でもなく、**単なる知識不足と勘違い**なのです。

◎家を建てる皆さまへ

家を建てるのは人生の中でとても重要な事です。大変な労力と財産を投資しなければなりません。そして、せっかく建てるのなら家族が暮らしやすい良い家を建てたいものです。

家を建てる時には、土地の神様に工事安全を祈る「地鎮祭」、木材や家屋・匠の守護神に祈る「上棟祭」、入居前に工事完成の感謝と家内安全を祈る「新宅祭」があります。また、古い家屋を解体する時は、これまでの感謝を込めて「解体清め祓い」をします。そういった建築儀式をすることによって、神様のご加護のもと、人生一大事の事業を家族みんなが無事にのり越えることができ、幸せな生活を送れるようになるのです。

そしてご近所の方にも家を建てる幸せを理解していただくためにも、「さんりんぼう」など暦の正しい知識をもって迷うことなく、大神様のご加護のもと日々ご安泰にお過ごし下さい。

※1・・・六曜は旧暦1月1日を先勝、2月1日を友引、3月1日を先負、4月1日を仏滅、5月1日を大安、6月1日を赤口としてこの順序で日々循環する。7月1日には再び先勝に戻り、同じ順序で循環する。

※2・・・二十四節気は、春は立春・雨水・啓蟄・春分・清明・穀雨、夏は立夏・小満・芒種・夏至・小暑・大暑、秋は立秋・処暑・白露・秋分・寒露・霜降、冬は立冬・小雪・大雪・冬至・小寒・大寒として季節の指標としたもの。更に立春を「正月節」、啓蟄を「二月節」、清明を「三月節」などと“節月”とした。

◇家相の相談や鑑定、大將軍の遊行日や建築に関するお問い合わせもお気軽にどうぞ。

寒河江莊總鎮守  寒河江八幡宮

<http://www.sagae-hachimangu.org> TEL:0237(86)6258 FAX:0237(86)8507